

南部地区人権教育実践報告会

平成29年7月28日（金） 会場：響の森桶川市民ホール・さいたま文学館（総参加者数638名）

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉
(2) あいさつ

実行委員
県教育委員会教育長
実行委員長
桶川市長
県議会文教委員長
人権教育課主幹



- (3) 情報提供

- (4) 人権作文・表彰

- ・「となりのおじいさん」
- ・「わたしのほくろ」
- ・「言葉の大切さ」
- ・「おじいちゃんありがとう」
- ・「みんな『きせき』の子」
- ・「あなたのたった一言で」
- ・「母が難聴になって学んだこと」
- ・「教わったこと」
- ・「外国人の人権」

桶川市立桶川小学校
北本市立中丸小学校
草加市立八幡小学校
川口市立根岸小学校
新座市立東野小学校
和光市立第二中学校
上尾市立南中学校
戸田市立戸田中学校
県立新座総合技術高等学校

第2学年
第3学年
第4学年
第5学年
第6学年
第1学年
第2学年
第3学年
第3学年

- (5) 閉会の言葉

実行委員

2 分科会の概要

分科会名	実践報告	参加者数
同和問題	○人権感覚を醸成する本校の実践 ○戸田市における人権教育の取組について	80名
子供	○望ましい人間関係を育むための人権教育の推進 ○互いのよさを認め合い、尊重し合える心を育む集会所講座の取組	220名
高齢者	○思いやりの心を持ち、差別をしない実践力をもった 児童の育成を目指して ～高齢者とのふれ合いを通して～ ○朝霞市における人権教育の取組 ～いくつになっても学ぶ幸せ～	22名
障害のある人	○共に認め合い、共に成長する集団 ～一人一人のよさを生かした学級づくり～ ○共生の心を醸成する教職員の共通認識と実践	64名
女性	○教育活動全体を通じた人権教育の推進 ○お互いを尊重できる人権感覚を有した生徒育成のための取組	29名
外国人	○伊奈町立南保育所における外国人の受け入れについて ○多様な背景を持つ生徒への対応	30名
その他の人権問題	○発達に特徴のある園児へのより良い保育と保護者への支援 ○多様な性への理解を深めるために	33名

3 参加者の意見など

- (1) 子供のまっすぐな気持ちがストレートに胸を打った。この会場にいる人たちだけでなく、もっとたくさんの人たちに伝えたい内容だった。
- (2) 様々な立場から活発な意見交換があり、普段見えにくい意識の違いに気づかされ、有意義な時間だった。
- (3) どのように子供たちに「人権」について身につけさせてあげれば良いのか、見えてきた気がする。人権感覚として子供の「気付き」を大切にし、心豊かな子供を育成できるよう、自身も人権感覚を磨いていきたいと思った。